



2025年度第 1 期『人権に係わる相談担当者等スキルアップ講座』

1 期	開催日		7 月 31 日（木）	8 月 21 日（木）
	分野		外国人の人権	様々な人権
	講座名		夢に向かって自分らしく生きる	「マイクロアグレッション」について考えよう
	講師		三重県立久居高等学校 教諭 大山 ジェシカ(おおやま じえしか)さん	公益財団法人 反差別・人権研究所みえ 研究員 荻田 実樹(おぎた みき)さん
	内容・講師紹介など		◆概要 三重県では、2024年12月31日現在、外国人住民数が66,836人に達し、県全体の人口の約3.82%を占めています。これは前年から4,275人(6.8%)の増加で、過去最多を記録しました。本講演では、三重県における多文化共生の現状や直面する課題、これまでに取り組まれてきた具体的な施策についてご紹介します。文化や言語の違いを超えて、ともに暮らし、支え合う地域社会づくりのために、私たち一人ひとりができることを見つめ直す機会となれば幸いです。 ◆講師紹介 ブラジル生まれ。10 歳のときに来日。飯野高校英語コミュニケーション科卒業。関西大学外国語学部で英語を専門に学び、卒業後は民間企業に就職。仕事のかたわら、通信制の大学に通い、教員免許を取得。2022年に県の教員採用試験に合格。現在は県立高校で英語教諭として教壇に立ち、今年で教職3年目を迎える。	◆概要 無意識の偏見や思い込みから生まれる、相手を傷つける言動を「マイクロアグレッション」と言います。 私たちの日常生活に潜む「マイクロアグレッション」の問題点や向き合い方について、みなさんとともに考えたいと思います。 ◆講師紹介 三重県志摩市内、四日市市内の中学校で教員として勤務 四日市市教育委員会人権・同和教育課 指導主事 2023年4月より公益財団法人反差別・人権研究所みえ研究員として勤務
	分野		相談技法	子どもの人権
	講座名		相談業務に携わる職員のメンタルヘルスについて	CAP（こどもたちが様々な暴力から自分を守るための人権教育プログラム）について ～子どもたちが安心して生活できるためにできること～
	講師		くわな心理相談室・三重県臨床心理士会（災害支援担当理事） 山村 真(やまむら しん)さん	大阪府教育委員会スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー 関西学院大学・関西国際大学非常勤講師、J-CAPTAトレーナー 西野 緑(にしの みどり)さん
	内容・講師紹介など		◆概要 カウンセリングを生業にしていると、「他の人の悩みを聞いていて、つらくなったりしないんですか？」と聞かれることがよくあります。相談業務は、それに従事している人々のところにダメージを与えるものであることを、誰もが体験的に知っているのです。ですが、その心理的なダメージとはどのような性質のもので、どうやってそれに対処したらいいかということはほとんど知られていません。今回の講義では、感情労働や二次的外傷性ストレスといったことをキーワードに、相談業務に携わる職員のメンタルヘルスをテーマにお話させていただきます。 ◆講師紹介 臨床心理士・公認心理師。児童相談所、精神科クリニックを経て総合病院に勤務し、個人心理療法以外にがん患者への支援や対人援助職のメンタルヘルスケアにも従事。	◆概要 子ども虐待は増加の一途を辿り、いじめ、暴力行為共に過去最多（文部科学省 2024）を記録していることから、子どもへの人権侵害を防ぐことは喫緊の課題であります。「こども基本法」等子どもの権利を位置づけた法律はできましたが、現実には子どもの権利が守られているとは言い難いです。現在、スクールソーシャルワーカーとして学校でいじめや暴力等の人権侵害事案に関わっている立場から、学校で子どもたちが権利を学ぶことの重要性を実感しています。いじめや虐待等の暴力をなくすためには、学校ですべての子どもたちが自分には権利があること、困った時には信頼できるおとなに話すことを教える予防教育が不可欠であると考えます。子どもたちに権利を教え、人権侵害に遭いそうになった時にできることを、授業の中で一緒に考えるCAP（暴力防止）プログラムの紹介および子どもたちが困ったときの話の聞き方や支援の仕方等をお話したいと思います。 ◆講師紹介 1995年からCAP（子どもへの暴力防止）の活動を開始し、30年間子どもの人権や子ども虐待等の講演や研修を実施している。現在J-CAPTAトレーナーズトレーナーとして、CAPの養成を行うトレーナーを養成している。2005年から大阪府のスクールソーシャルワーカー（以下、SSW）として活動し、現在SSWスーパーバイザーとして、数か所の教育委員会ではいじめ・虐待等に対する緊急支援や教職員への研修等を行っている。また、20年近く、大学で教壇に立ち教員やSSWの養成をしている。同時に、「子ども虐待」「チーム学校」「子どもアドボカシー（権利擁護）」等の研究をしている。主な著書に『子ども虐待とスクールソーシャルワーク～チーム学校を基盤とする「育む環境」の創造～』（単著・明石書房）や『「チーム学校」を実現するスクールソーシャルワーク～理論と実践をつなぐメソ・アプローチの展開～』（編著・明石書房）等がある。

- 【申込方法】 1. 下記申込フォームへアクセスまたは携帯電話等で二次元コードを読み取る。
2. 必要事項を入力の上送信をしてください。
※メールアドレス（任意）をご入力いただきますと申込完了通知が送付されます。
（お申込み後の変更やキャンセルの場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。）



（申込フォーム）
<https://logoform.jp/form/8vMX/1064962>

（申込用二次元コード）